

よみとりとよむ

2

「わくわく」

今回のおはなし

いろいろなしゅるいの ひこうきが、空の
あちこちであつやくして います。

今から 百年ほど 前に、
せいかいで はじめて 人を
のせた ひこうきが、空を
とぶ ことに せいこうしま
した。それから 百年が た
ち、今では いろいろな ひこうきが 空を
とんで います。



まず、人や にもつを はこぶ ひこうきが
あります。ひこうきに のれば、海を こえた
遠い 国まで 行く ことが できますし、た

くさんの にもつを 遠い ところへ とどけ
る ことが できます。中には、ひこうきを
はこぶ ひこうきも ある くらいです。

しょうぼう車や きゆうきゆう車と 同じ
はたらきを する ひこうきも あります。空
から 水を まいて 火を けしたり、海で
そうなんした 人を たすけたり する こと
が できるのです。

音の はやさよりも はやく とぶ ことが
できる ひこうきも あります。その ひこう
きに のれば、遠い ところへも あつという
まに 行く ことが できますね。
ほかにも いろいろな ひこうきが 今日も
空の ところかて、かつやくして います。

おうちのかたへ 今回のおはなしのあらまし
自分の知識と照らし合わせながら読む。
新しい知識を獲得することを喜びましょう。

1 上の 文しように 声に出して 読みま
しょう。

2 人が ひこうきで 空を とぶ ことに
せいこうしたのは、いつの ことですか。

今から百年ほど前。

3 しょうぼう車や きゆうきゆう車と 同じ
はたらきを する ひこうきは、どのような
ことを しますか。

空から水をまいて火
をけしたり、海でそう
なんした人をたすけた
りすること。

4 ……について、上の 文しように 出で
くる ひこうきの ほかに、どんな ひこうき
が ありますか。知って いる ことや しら
べた ことを おうちの 人に 話しましょう。

はなまる
シール

出典 ※『全小生』入塾記念号より

読み進め

今回の学習のねらい

- 自分の知識と照らし合わせながら読む。
- 新しい知識を獲得することを楽しむ。

支援のポイント

この時期の子どもには、未知の領域がたくさんあります。ところが、未知であるがゆえに、どんな世界が広がっているのか、子ども自身にはわかりません。子どもが未知の世界の扉を開くためには、きっかけが必要です。このような形で問題に取り組むことも、そのきっかけの一つとなります。あるいは、夏休みに旅行に出かける、近所を散歩してみる……といったこともまた、子どもにとっては大切なきっかけとなるはずです。机に向かって勉強することとそれ以外のさまざまな実体験に、バランスよく取り組みたいものです。

4 問題文をきっかけとして、未知の世界へ足を踏み入れてもらうための問題です。既知のことだけでなく、新たに自分で調べたことを話の中に盛り込めるよう、いっしょに図書館に行ったり、インターネットで調べたり、おうちのかたの知識を開示したりと、さまざまな形で支援していただけるとよいでしょう。

ほめ方のポイント

今回参考にした文献の中に、『乗り物ワイドBOOK 飛行機・船』（学研刊）という本があります。飛行機について詳しく説明された本で、『わくわくエブリスタディ』の「本のしゅかうかい」でも取り上げています。お子さまが飛行機に興味をもった場合には、図書館などで探してみてもいいかがでしょうか。

2 正確には、ライト兄弟が人類初の動力飛行に成功したのは、一九〇三年のことです。ただし、歴史の問題ではありませんから、正確な年号を答える必要はありません。問題文から「約百年前」であることが読み取れば十分です。ただし、知識を広げる意味では、「いつのことなんだろう。」「どんな飛行機だったんだろう。」といった疑問を大切にしたいものです。

3 実際には、片一方の機能しかもたない飛行機がありますから、解答に含まれる「火を消す」「遭難者を助ける」という二つの要素を並列させて答えていなくても、どちらか一方が答えられていれば、まずはそのことを認めてあげてください。そのうえで、もう一方の要素について、問題文を再読しながら確認するようにしましょう。